

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 頭蓋内転移の原発巣検索における MRI-DWIBS(背景抑制広範囲拡散強調画像)の有用性についての研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 院内助教・平井 希

【試料・情報の利用目的】

本研究は2017年1月1日～2024年3月31日までの間に紹介元施設にて、頭蓋内転移を契機に発見されたがん症例の原発巣検索にDWIBS撮像法¹⁾を用いたMRI検査を行い、東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科にて転移性脳腫瘍に対する治療を行った患者さんを対象とし、診療録(カルテ)情報より抽出したデータを解析します。取得した情報は、頭蓋内転移を契機に発見されたがん症例に対しDWIBS撮像法を用いたMRIによるがん全身スクリーニング検査の有用性を検討することを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、転移性脳腫瘍患者さんの予後改善につながります。

なお、DWIBS撮像法を用いたMRI検査は、紹介元施設にて施行され、当院への転院時に提供された検査データを利用します。また、がん全身スクリーニング目的で行われた造影CTもしくはPET CT検査の検査データも本研究に利用します。

- 1) DWIBS (Diffusion weighted Whole Imaging with Background body signal Suppression)撮像法 : DWIBS(ドゥイブス)はMRIを用いた全身のがん検査法の一種です。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 年齢、性別、転移性脳腫瘍及び原発巣発生部位、病理診断、分子診断、腫瘍径、治療内容(手術、化学療法、放射線治療)、合併症、転帰(全生存期間) 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年6月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2017年1月1日～2024年3月31日までに紹介元施設にて、頭蓋内転移を契機に発見された癌症例の原発巣検索にDWIBS撮像法を用いたMRI検査を行い、東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科にて転移性脳腫瘍に対する治療を行った方。

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者： 平井 希 役職： 院内助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 院内助教 平井 希

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年7月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。患者さんご本人はもちろん、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせも受け付けます。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科
職位・氏名 院内助教・平井 希
電話 03-3468-1251 内線 7984